臺灣日日新報　第一万四千九百四十八號　昭和十六年十月二十日（月曜日）　（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

天皇陛下、護國の英靈に御親拜

統帥府との連絡懇談

首、海、外三相擔當

東條内閣の國策遂行

靖國神社臨時大祭第三日（十八日）謹寫

【東京廿日發同盟】戰局重大なる段階の中に東條新内閣は去る卅七日の親任式と共に發足したが、内閣は去る卅日の閣議に於て大東亞共榮圏建設の國策遂行並にこの國策を徹底するに必要な國防國家態勢の確立を負荷されたる使命として出發したがこれらの國策を實行するための諸方策は既に近衛内閣に於て決定されてゐるので、これを基礎として行くか或はこれを變更するかは東條内閣に於て決定することになつてゐるが、然しては國防國家態勢を確立するために比較的短期間に於て重大なる決意を必要とするので、東條首相及び東亞共榮圏建設の國策の確立に關しては絶對的權威の一體化が絶對の要件となるので、第三次近衛内閣に於て御指名せられた陸軍及び海軍の最高統帥部と東條首相との緊密なる協力體制の確立に關しては既に去る十月十六日午後三時半より宮中に於て統帥部と東條首相との間に一體化の御親裁會議が開かれ、引續き午後四時半より東條首相は參謀總長、軍令部總長兩統帥部長官を官邸に招いて懇談會を開いたが、この會議に於ては國防國家態勢の確立に關する諸般の問題に關し懇談を遂げたものと拜察されてゐる

首相兼内相陸相、嶋田海相、東郷外相のメンバーに依り國策遂行の具體方策を協議せられる事になるが、又國内施策に關しては國防國家態勢確立のための諸施策を實行に移して行くと共に國軍作戰の面に於ては國防國家態勢の整備及びこれに關聯して行くべき諸般の施策を總合調整して國軍作戰の萬全を期するために、杉山參謀總長、永野軍令部總長兩統帥部長官が首相官邸に於て隨時會合することになつてゐる

【東京廿日發同盟】東條首相は廿日午前八時より宮城御參内、御座所に於て約九時間に亘り拜謁、謹んで聖旨を奉戴し、午後一時より官邸に於て閣僚會議を開き同四時半より統帥部との間に懇談會を開いたが、午後七時半より宮中に於て親任式を行ひ正午には伊藤國務大臣從三位の

獨佛交渉を再開

ヴィシー政府聲明確認

ルディ島首相の談話を發表してゐる

【ヴィシー十八日發同盟】佛國政府は十八日午後ラヴァル副首相兼外相、ウェーガン北阿總司令官、ダルラン副首相兼ビシュー相等閣僚の重要會議を開催、ダルラン副首相兼ビシュー相より獨逸との交渉經過に關し詳細報告を聽取した上、獨逸との交渉を再開することに決定した

【ヴィシー十八日發同盟】佛國政府は十七日ヴィシーに於ける閣議に於て獨逸との交渉を再開することに決定したが、これは獨逸側の要請に基くものであつて、獨逸側は獨逸の對佛交渉の基本的態度は何等變更されてゐないことを明かにしてゐる

赤軍八箇師擊滅

獨ソ戰線チモシエンコ軍崩潰

【ベルリン十八日發同盟】獨軍司令部發表

一、ブリヤンスク及びヴイヤジマ方面の二作戰は敵軍の勝利を以て完了した

二、右二地區に於てブオンニボツ附近、ヤルツエボ附近の獨逸步兵はケッセルリング元帥の指揮下の部隊は敵の主力殲滅、即ち步兵十箇師團の主力及び騎兵六箇を殲滅した

三、獨軍はこの方面の殘敵掃蕩作戰を續行中である

【ベルリン十八日發同盟】獨逸兵團はチモシエンコ軍團の殘敵掃蕩作戰を續行中であるが、この方面に於ける赤軍の兵力は十七箇師團、騎兵六箇師團、戰車二千輛と推定されてゐる

出港米船舶許可制

極東航路、海軍命令下に

【ワシントン十八日發同盟】海軍當局は十八日サンフランシスコを出港する船舶は今後一々海軍當局の出港許可を受くべき旨發表したが、同港發がロサンゼルス及びサンヂエゴ港に於ける極東航路、南米航路、豪洲航路に就航する船舶にも適用されるものと見られる、尚同當局發表の如き海軍當局の出港許可制は米國西海岸の全港灣に實施されるものと見られる

【ロンドン十八日發同盟】在ロンドン・オランダ政府外務當局スポークスマンは有事の際オランダは米國の如き海軍當局の出港許可制を實施するであらう旨語つた

泰臨時閣議

國際情勢轉換を再檢討

【バンコック十九日發同盟】タイ國は今次日本の緊急なる重責に當るがタイ國政府では十八日午後

泰佛印國境劃定

廿日に作業開始

【サイゴン十八日發同盟】タイ、佛印國境劃定委員會は廿日よりタイ側パツタンバン、佛印側プルサット間地點より作業に着手することに決定、日本側は矢野委員以下各種委員がサイゴンより現地に赴き、これに立會ふこととなつた

米艦隊へ蘭印提供

ニューランダ政府示唆

【ロンドン十八日發同盟】在ロンドン・オランダ政府外務當局スポークスマンは有事の際オランダは米國の如き海軍當局の出港許可制を實施するであらう旨語つた

軍事・内政の一體化

近衛公退陣と新内閣の意義

【東京廿日發同盟】十六日突如として第三次近衛内閣は總辭職を決行した、恐らく國民の大部分は晴天の霹靂に驚いたことであらう、何の故の總辭か、又何故に近衛公は政權を投げ出したのか、この際はつきりとした總辭の理由を發表すべきであるとの聲が國民の間に擧つてゐるが、これに對しては近衛公は何等語つてゐない、しかし近衛公の總辭は決して單なる内閣の更迭ではなく、實に我が國の政治體制の一大變革であり、又我が國の政治史上劃期的な出來事であつて、我が國の政治體制は今や大きな轉換期に直面してゐるのである、即ち我が國は今日の國際情勢の重大性に鑑み、擧國一致の强力體制を確立して大東亞戰爭の完遂に邁進しなければならないことは勿論であるが、この際擧國一致の强力體制を確立するためには從來の政治體制の缺陷を是正し、政治力の飛躍的强化を圖ることが絶對に必要であり、從つて

社說

東條內閣とその外交方策

豫期の如く東條內閣は成立した。陸軍大臣、內務大臣、文部大臣、拓務大臣、鐵道大臣の兼任を解いて、陸軍大臣東條英機、內務大臣安藤紀三郎、文部大臣岡部長景、拓務大臣大達茂雄、鐵道大臣八田嘉明の五氏が新たに親任式を擧げた。

東條內閣の成立は、近衛內閣の總辭職に伴ふ當然の結果であるが、それは單なる內閣の更迭ではなく、實に擧國一致體制の確立を目指す國內新體制の發足である。從つて東條內閣の使命は、從來の如き單なる政局の收拾にあるのではなく、擧國一致體制の確立を以て、內外時局の重大性に對處することにある。

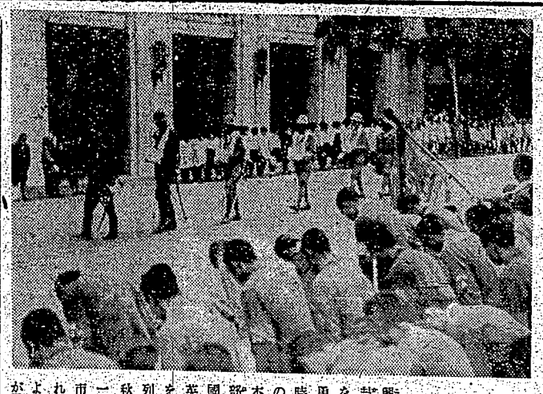
東條內閣の成立は、內外ともに極めて重大な意義を有するものであるが、內閣の顏觸れを見ると、陸軍大臣、內務大臣、文部大臣、拓務大臣、鐵道大臣の五相を兼任し、しかも陸軍大臣は現役大將であり、內務大臣は警察の最高權威者であり、文部大臣は教育界の長老であり、拓務大臣は滿洲國通であり、鐵道大臣は交通界の大立物であるなど、いづれも一騎當千の人物揃ひであつて、東條內閣の陸軍的性格を裏書きするとともに、擧國一致體制の確立に對する決意の程を如實に物語つてゐるものといへよう

東條内閣の人々

あくまで〝電撃總理〟
伊勢大廟へ・空路歸京
鮮に一人三役の使分け

【名古屋發同盟】東條陸軍大臣は戰況報告のため十八日夜東部軍司令部から參謀長飯村穆中將、航空總監河邊虎四郎中將、參謀本部第一部長田中新一少將、陸軍省軍務局長佐藤賢了少將、秘書官赤松貞雄大尉、副官石井秋穂少佐、同渡邊新太郎中尉、同小川貞次郎中尉、運轉手兼護衛下士官一名、それに女中代りの看護婦として大臣夫人の姪に當る女學生の十七歳になる東條喜久子さんの一行九名を乘せた九七式重爆撃機で名古屋飛行場を出發、一路伊勢大廟へ向ひ、同廟參拜を終つて午後一時半名古屋飛行場に歸着、直ちに待機中の一式戰鬪機に乘換へ、一路東京へ向つた

【名古屋發同盟】東條陸軍大臣は十八日午前八時半名古屋飛行場を出發、一路伊勢大廟へ向ひ、同廟參拜を終つて午後一時半名古屋飛行場に歸着、直ちに待機中の一式戰鬪機に乘換へ、一路東京へ向つた



決意を神前に祈念
國民に挨拶の錄音
新大臣逞しい發足の日課

【東京發同盟】一片の辭令を受けるや否や、東條陸軍大臣は、直ちに陸軍省内の大臣室に入つた。この日陸軍省内の大臣室には、午前八時半頃から、陸軍次官富永恭次中將、軍務局長佐藤賢了少將、人事局長阿南惟幾少將、軍事課長岩畔豪雄大佐、軍務課長柴山兼四郎大佐、軍事課高級課員西浦進大佐、軍務課高級課員竹下正彦中佐、軍事課高級課員荒尾興功中佐、軍務課高級課員加藤泊治郎中佐、軍事課高級課員服部卓四郎中佐、軍務課高級課員佐藤正矩中佐、軍事課高級課員辻政信少佐、軍務課高級課員稻葉正夫少佐、軍事課高級課員堀場一雄少佐、軍務課高級課員西村敏雄少佐、軍事課高級課員井本熊男少佐、軍務課高級課員河村參郎少佐、軍事課高級課員白勢麟三少佐、軍務課高級課員上野敬一少佐、軍事課高級課員原善四郎少佐、軍務課高級課員中村勝平少佐、軍事課高級課員秋永芳郎少佐、軍務課高級課員藤原喜平少佐、軍事課高級課員藤原岩市少佐、軍務課高級課員藤井治夫少佐、軍事課高級課員藤井治夫

(四) A 昭和十六年十月二十日 (月曜日) 臺灣日日新報 第一万四千九百四十八號 (第三種郵便物認可)

各地總合版

百五十萬州民擧げ 豐穰感謝奉告祭

臺南神社祭の佳日盛大に執行

【臺南特電】いよ〳〵十九日は臺南州民の感謝と感激をうつして百五十萬州民の感謝と感激を一つに集めて神社奉告祭が執行される日である、この日は州内の各地方及び各職場は部落毎に、又は各学校は全校生徒が神社に参拝して感謝の誠を捧げるといふので、この日のコロムビアに吹込まれる筈になつて居た"奉告祭"のレコードは本日午前八時から放送されることになつた

稔る秋の壽ぎ 天候に惠まれ

【臺南特電】いよ〳〵待ちに待つた稔りの秋が訪れて臺南州下の各地は何れも豊年の喜びに湧き立つ時候となつた、殊に今年は北門郡佳里庄を中心とする一帯の地方は一面に黄金の波を打つて稲穂は重く垂れ下つて居り、刈り入れ作業は既に各地方及び各部落毎に行はれ、又は行はれつゝあるが、何れも豊作の喜びに湧き立つて居る、尚ほ州下の各地方では今年は豊作に恵まれたので、例年よりも盛大に奉祝祭を行ふ筈で、山里皮等はモンペ姿で行かう時局柄のため今年は例年の様な賑やかな催しは出来ないが、各部落毎に感謝祭を行ふ筈である

半島出身者から 麗しい慰問金

慶子さんを續ける美談

【臺南特電】陸軍兵志願者訓練所に入所中の半島出身者から慰問金を送つて来たので、所長は感激の余り、その人の住所氏名を知らせて呉れと依頼したが、その人は決して名前を知らせないがこれは全く感激の至りであるとして、所長は次の様な麗しい物語——臺南市四丁目某人の一家は一人息子を陸軍に入所させ、一家挙げて銃後の護りに挺身して居るが、その家の主人は昨年病死し、母親は女手一つで一家の生活を支へて行かねばならぬ境遇にあつたが、入所した息子さんの事を思ひ、自分達の生活費を節約して慰問金を送つて来たものである、所長は之を聞いて